

東町かわら版

第18号 平成26年8月25日

発行：日光東町まちづくり推進委員会

委員長 高梨 弘志

事務局：日光市 都市計画課 都市計画係

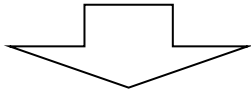
平成26年度 日光東町まちづくり推進委員会(総会)を開催しました

5月29日に開催しました推進委員会(総会)にて、平成26年度の事業計画、予算が決定しました。平成26年度予算は、収入、支出ともに予算額212,000円。主な収入として、市補助金200,000円を見込み、主な支出は事業費170,000円、広報費18,000円などとなっています。また、役員の変更も行い、以下のとおり決定しました。

＜委員長＞ 高梨弘志下鉢石町自治会長 ＜副委員長＞ 栗原幸夫稲荷町二丁目自治会長
＜監事＞ 太田甫上鉢石町自治会長、大久保政一石屋町自治会長

平成26年度事業計画

- ・「東町かわら版」の発行 ・推進委員会の開催 ・公共機関との連携
- ・『日光東町まちづくり規範』のステップアップ ・その他目的達成に必要な活動



『日光東町まちづくり規範』＜平成26年深化版＞を発行します

日光東町まちづくり推進委員会では、平成15年6月から平成17年5月の約2年にわたり、『日光東町まちづくり規範』についてワーキンググループで議論し、私たちの暮らす日光東町のまちづくりの基本となる初版の規範を発行いたしました。

それから7年を経た平成24年8月、再びワーキンググループを立ち上げました。

東町を貫く国道119号整備が進む中で、「祭(いのり)のまち」をテーマとした東町のまちづくりをより推進していくため、2年間で20回の会議を開催して議論を重ね、今回、平成26年深化版を発行することになりました。

この深化版は、初版の規範を否定するのではなく、新たに追加、レベルアップしたものですので、初版の規範とともに「まちづくりの基本原則」としてお手元に置いていただければと思います。

深化版については、10月号の「広報にっこう」とともに各戸に配布を予定しています。



日光東町まちづくり規範
＜平成26年深化版＞

日光東町まちづくり推進委員会
ワーキンググループ



「日光東町まちづくり絵図」看板を改修しました

NIKKO is NIPPON
日光が生まれ変わります



日光東町まちづくり絵図

祭いのり
のまち

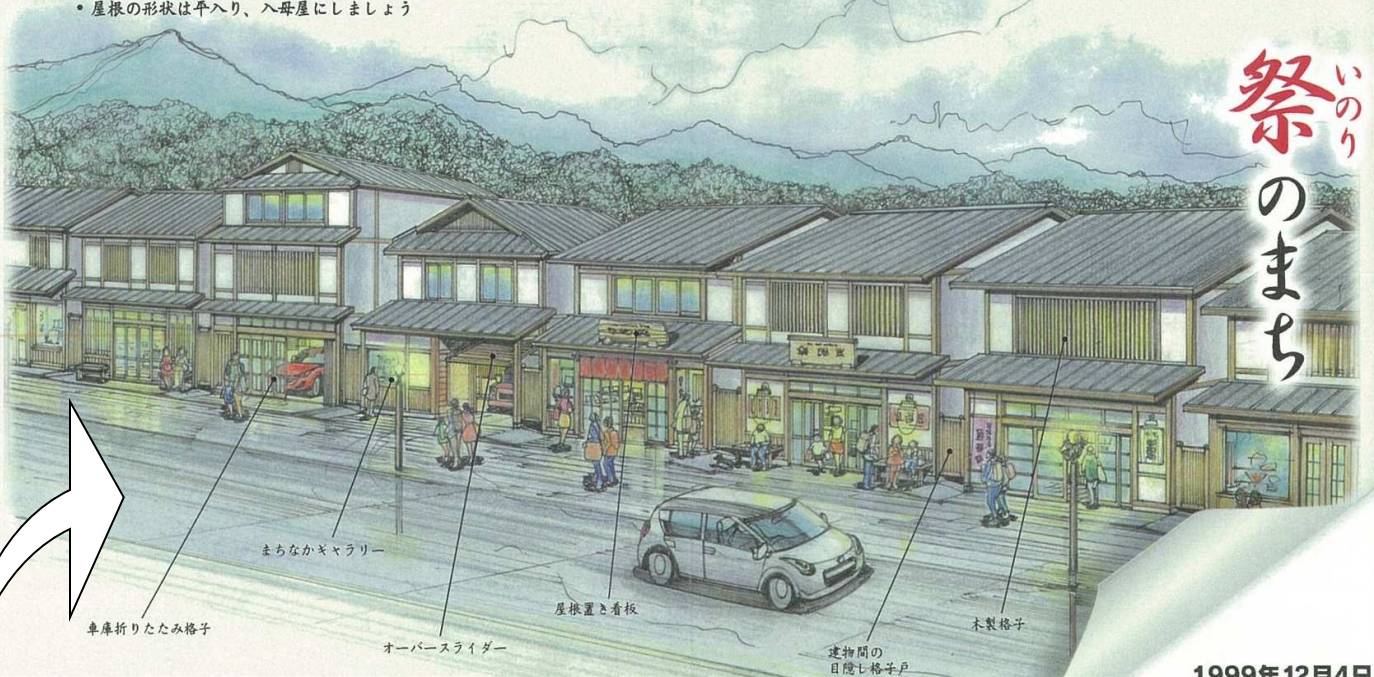
日光東町は、世界遺産「日光の社寺」の門前町としてふさわしい街並み景観と、住んで良し、訪れて良しのまちづくりを進めるため、「祭（いのり）のまち」をまちづくりのテーマとしました。

わたしたちは、日光の長い歴史の中ではぐくまれた、伝統や文化を継承しながら、世界に誇れる街並みづくりを市民と心を合わせて推進しております。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

まちづくりの基本事項

- 道路に面している壁面（フェイス）はそろえましょう
- 軒先を揃えて、連続性を演出しましょう
- 建物はできるだけ2階建てにしましょう
- 屋根の形状は平入り、ハ母屋にしましょう



平成26年3月 日光東町まちづくり推進委員会

1999年12月4日
世界遺産「日光の社寺」登録



日光東町まちづくり推進委員会では、新しい「祭（いのり）のまち」イメージ図完成に伴い、御幸町地内の日光郷土センター東側、国道に面したところに設置している案内看板の改修を行いました。

この看板では、わたしたちが進めようとしているまちづくりについて説明し、発信しようとするものです。お近くをお通りの際はぜひご覧ください。

【東町かわら版 第18号】

日光東町まちづくり推進委員会 委員長 高梨 弘志

(事務局) 日光市 建設部 都市計画課 都市計画係 TEL 21-5102